

2016 年度第 3 四半期決算

プレスリリース
2016 年 10 月 28 日、パリ発



好業績および着実な自己資本の積上げ



事業部門の営業収益の伸びが好調

事業部門営業収益：前年同期比 **+4.8%**

事業部門の営業総利益は高い伸びを示す

事業部門営業総利益：前年同期比 **+8.8%**

リスク費用は当四半期も減少

前年同期比 **-13.4%** (43 BP*)

株主帰属純利益が増加：前年同期比 **+3.3%**

株主帰属純利益：18 億 8600 万ユーロ
前年同期比 **+15.0%** (特別項目を除く)

エクイティ **TIER 1** 比率はさらに上昇**

11.4% (2016 年 6 月末比：+30 BP)

* リスク費用÷期首融資残高 (年率換算後の BP) ; ** 2016 年 9 月末現在。資本要求指令 4 (CRD4) を全面適用した比率

2016年10月27日にBNPパリバの取締役会が開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2016年度第3四半期の業績が検討されました。

好業績および着実な自己資本の積上げ

BNPパリバ・グループは当四半期も全体的に良好な業績を収めることにより、低金利環境にあってもその統合され多様化したビジネスモデルの強みが発揮されることを証明しました。

営業収益は当四半期に105億8900万ユーロに上り、前年同期と比べて2.4%の増収となりました。当四半期の営業収益には、自己負債の再評価に関わる修正額（Own Credit Adjustment: OCA）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（Debt Value Adjustment: DVA）による一過性の影響として、合計で-2億200万ユーロが計上されました（前年同期は+3700万ユーロ）。

事業部門全体では、営業収益は順調に伸びて前年同期比+4.8%の増収を果たしました。事業部門別では、国内市場部門¹の営業収益は、低金利環境にも関わらず安定推移し、前年同期比+0.1%増加しました。国際金融サービス部門の営業収益は、前年同期比と比べて3.9%増加しました。ホールセールバンキング事業（CIB）の営業収益は、前年同期比+13.2%の大幅増収となりました。

営業費用は当四半期に72億1700万ユーロとなり、前年同期から3.7%増加しました。当四半期の営業費用には、買収²に関わる一時的な事業再編費用として3700万ユーロ（前年同期は3400万ユーロ）に加え、CIBの事業改編計画に要する費用として2億1600万ユーロが含まれていました（前年同期はゼロ）。CIBの事業改編計画は速やかに実施されており、当四半期の費用はこれを反映したものです。なお当四半期の営業費用には、Simple & Efficient計画に関わる改編費用はもはや含まれていません（前年同期は1億2600万ユーロ）：従来の目標どおり、同計画に関わる最終的な費用は2015年度第4四半期に計上されました。

営業費用を事業部門別にみると、国内市場部門¹で前年同期比1.6%増加し、また国際金融サービス部門で3.4%増加し、さらにCIBでは前年同期比3.5%増加しました。事業部門の営業費用は、Simple & Efficient計画が奏功し経費の自然増が打ち消された一方で、新規制の実施や一部の業務の拡充による影響を反映しています。

これらを受けて、グループの営業総利益は当四半期に前年同期比0.5%減少して、33億7200万ユーロとなりました。なお事業部門全体では、前年同期と比べて8.8%増加しました。

リスク費用は当四半期に-13.4%と減少しました。これにはとりわけ、ローンオリジネーション業務でリスク管理効果が発揮されたことに加え、低金利環境、およびイアリアで引き続き状況改善が認識されたことが貢献しました。当四半期のリスク費用は7億6400万ユーロとなり（前年同期は8億8200万ユーロ）融資残高の43bp相当でした。

営業外損益は当四半期に1億7200万ユーロの利益となりました（前年同期は1億6300万ユーロの利益）。

これらを受けて、当四半期の税引前利益は27億8000万ユーロとなり、前年同期の26億6900万ユーロと比べて+4.2%増加しました。なお事業部門全体の税引前利益は、前年同期比15.2%の増加を果たしました。

以上から、当四半期の株主帰属純利益は18億8600万ユーロに上り、前年同期と比べて3.3%の増益でした。なお一時項目³を除くと、当四半期の株主帰属純利益は21億9200万ユーロとなり、前年同期から+15.0%の増益を果たしました。

2016年9月末現在、バーゼル3全面適用のエクイティTier1比率⁴は11.4%となり、2016年6月末現在の水準から30bpの上昇を果たし、グループが着実に自己資本を積上げていることを証明しました。バーゼル3全面適用のレバレッジ比率⁵は2016年9月末現在で4.0%となり、2016年6月末の水準から安定推移しました。

¹ 国内市場部門のプライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）

² LaSer、BGZ銀行、DABバンク、およびGeneral Electric LLD

³ 一時項目による影響は税引後ベースで：2016年度第3四半期は-3億600万ユーロ、2015年度第3四半期は-8000万ユーロ

⁴ 経過措置なしで全ての資本要求指令4（CRD4）規則を考慮した比率

⁵ 2019年に完全施行されるCRD4規則を経過措置なしで全て考慮し、また2014年10月10日付けの欧州委員会（EC）委任法令に基づき算定された比率

流動性カバレッジ比率（LCR）は、2016年9月末現在で127%となりました。また、グループの即時利用可能な余剰資金は2016年9月末に3260億ユーロに上っており（対して、2016年6月末現在は2910億ユーロ）、これは短期資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味します。

1株当たり純資産額は2016年9月末現在で73.1ユーロとなり、2008年12月末からの年平均成長率（CAGR）は6.2%に相当します。これは、グループが景気局面を通して継続的に企業価値を創造する能力を有していることを証明するものです。

さらに、グループは、米司法当局との包括的和解の一環として合意された是正計画を積極的に実施するとともに、コンプライアンスおよび内部統制手続きの強化を継続しています。

*
* *

2016年度第3四半期累計期間（1-9月）において、長引く低金利環境に加え2016年第1四半期の市場環境が特に厳しかったにも関わらず、営業収益は前年同期比+0.8%と若干の増収を果たし、327億5500万ユーロに上りました。当第3四半期累計期間の営業収益には、VISAヨーロッパ株の売却による一過性の譲渡益+5億9700万ユーロが含まれています。また、自己負債の再評価に関わる修正額（Own Credit Adjustment: OCA）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（Debt Value Adjustment: DVA）による影響として、合計で-4100万ユーロが計上されました（前年同期は+1億5400万ユーロ）。

事業部門の営業収益は前年同期と比べて底堅さを見せました。国内市場部門¹の営業収益は-0.4%の減収に留まり、国際金融サービス部門では前年同期比+0.5%の増収を果たした一方、CIBでは2016年度第1四半期の市場環境が特に厳しかったことから、前年同期比-2.8%の減収となりました。

営業費用は当第3四半期累計期間に219億3400万ユーロとなり、前年同期比0.4%の微増に抑えられました。当第3四半期累計期間の営業費用には、買収²に関わる一時的な事業再編費用とCIBの改編計画に関わる費用を合わせて、4億700万ユーロが含まれています（前年同期は5億700万ユーロ）。なお当第3四半期累計期間の営業費用には、Simple & Efficient計画に関わる改編費用は計上されていません（前年同期は3億9000万ユーロ）。

営業費用を事業部門別にみると、国内市場部門¹で前年同期比2.0%増加し、国際金融サービス部門で前年同期比1.9%増加した一方、CIBでは第1四半期に相場混乱のあおりを受けて業務活動が低下したことから、前年同期比1.3%減少しました。なお、IFRIC第21号「賦課金」の解釈³に基づき、当第3四半期累計期間の営業費用には、2016年度の銀行業務に関わる税金および拠出金の増加分の全額が含まれています。さらに、当第3四半期累計期間の営業費用には新規制の実施やコンプライアンス体制の強化による影響が反映されていますが、同時にSimple & Efficient計画が奏功し経費の自然増が打ち消されるという効果がありました。

グループの営業総利益は、当第3四半期累計期間に前年同期と比べて1.7%増加し、108億2100万ユーロに上りました。なお事業部門全体では、前年同期比3.5%の減少でした。

当第3四半期累計期間のリスク費用は、前年同期と比べて-18.3%と大幅に減少しました。これにはとりわけ、ローンオリジネーション業務でリスク管理効果が発揮されたことに加え、低金利環境、およびイタリアで状況改善が認識されたことが貢献しました。その結果、当第3四半期累計期間のリスク費用は23億1200万ユーロとなりました（前年同期は28億2900万ユーロ）。

営業外損益は当第3四半期累計期間に+4億3400万ユーロの利益となりました。（前年同期は+10億9400万ユーロの利益でした。これにはクレピエール＝コロオに対する7%持分の売却益+3億6400万ユーロと、クレピエールとコロオの合併により生じた希薄化を引き起こすキャピタルゲイン+1億2300万ユーロに加え、非戦略的な投資先に対する持分の売却益+9400万ユーロが、特別項目として影響していました。）

¹ 国内市場部門のプライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）

² LaSer、BGZ銀行、DABバンク、およびGeneral Electric LLD

³ 2016年度に必要とされる銀行業務に関わる税金および拠出金の全額を第1四半期に計上

これらを受けて当第3四半期累計期間の税引前利益は89億4300万ユーロとなり、前年同期の89億600万ユーロと比べて+0.4%増加しました。なお事業部門全体では、前年同期比-0.4%の減少でした。

以上から、当第3四半期累計期間の株主帰属純利益は62億6000万ユーロとなり、前年同期と比べて3.8%の増益となりました。なお特別項目¹を除くと、当第3四半期累計期間の株主帰属純利益は59億8900万ユーロに上り、前年同期比+4.1%の増益でした。

当第3四半期累計期間の自己資本利益率は、一時項目を除いた年率換算後で9.8%となりました（2015年度通期²との比較で+60bpの上昇）。有形自己資本利益率は、一時項目を除いた年率換算後で11.7%に上りました（2015年度通期²との比較で+60bpの上昇）。なお、エクイティ Tier 1 比率 10%を前提にした自己資本利益率は、一時項目を除いた年率換算後で10.7%となりますが、これは2014-2016年度事業計画の目標に沿う水準です。

¹一時項目による影響は税引後ベースで：2016年1-9月期は+2億7200万ユーロ、2015年1-9月期は+2億7800万ユーロ

²一時項目による影響は税引後ベースで、2015年度通期に-6億4400万ユーロ

リテールバンキングおよびサービス事業

国内市場部門

借入需要が穏やかに回復するなかであって、国内市場部門の融資残高は当四半期に前年同期と比べて **3.1%** 増加しました。預金残高は、国内ネットワークの全体にわたり着実に伸びたことから、前年同期比 **7.5%** 増加しました。活発な営業活動の成果は、とりわけ新たな形の信用供与を導入したことに現れています。かかるサービスは、欧州で目覚ましい成長を遂げる中小企業（SME）を支援することを目的として新たに設立された債券ファンドである **BNP Paribas European SME Debt Fund** との組み合わせになっています。国内市場部門によるデジタルバンキング商品の開発努力が実を結び、モバイル決済サービスの **Wa!** と **Fivory**（クレディ・ミュチュエル¹）の提携によるサービスが **2017** 年に開始されることになりました。かかるパートナーシップにはとりわけカルフル、オーシャン、およびトタルが参加し、決済機能、ポイントサービス、割引などを一体化したソリューションを提供します。さらに国内市場部門は、高い付加価値を伴うシームレスなバンキングサービスを新たに顧客へ提供するために、引き続きこれまでに無いカスタマー・エクスペリエンスの開発を押し進めました。

営業収益² は、長引く低金利環境にあって当四半期に **39 億 2300 万ユーロ** となり、前年同期比 **+0.1%** で横ばいでした。ベルギー国内リテールバンキング（BRB）および専門的金融業務は好調で、営業収益は増収を果たしました。

営業費用² は当四半期に **25 億 6700 万ユーロ** となり、前年同期比 **1.6%** 増加しました。これは事業の生長に伴うものであり、とりわけアルバルが著しい伸びを果たしました。

これらを受けて、営業総利益² は前年同期から **2.7%** 減少して **13 億 5600 万ユーロ** となりました。

リスク費用は、低金利環境の恩恵を受けて大幅に減少しましたが（前年同期比 **-21.6%**）、とりわけ **BNL** バンカ・コメルシアールでの継続的な減少が顕著でした。

以上から、プライベート・バンキング業務の純利益の **3 分の 1** を、国内市場部門からウェスル・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、当四半期の税引前利益³ は前年同期比 **+9.1%** の高い伸びを示し、**9 億 9300 万ユーロ** に上りました。

フランス国内リテールバンキング（FRB）

フランス国内リテールバンキング（FRB）の融資残高は、企業向け融資が増加したことに加え住宅ローンの貸出状況が安定したこと、前年同期比 **1.3%** 増加しました。また、ローンの設定は回復基調をたどったため、**2016** 年度第 2 四半期と比べて融資残高は **2.1%** 増加しました。預金残高は、当座預金の高い伸びが牽引し、当四半期に前年同期比 **6.5%** 増加しました。業務活動の回復基調はまた、オフバランス貯蓄商品の好調にも反映されています：ミューチュアルファンドの残高は **2015** 年 9 月末時点と比べて **8.4%** 増加し、生命保険残高は同じく **3.4%** 増加しました。プライベート・バンキング部門では、事業売却でビジネスセンターとの協働が特に貢献し、多くの資金流入がありました。

営業収益⁴ は当四半期に **16 億 100 万ユーロ** となり、前年同期から **3.1%** 減少しました。純利息収入⁴ は、長引く低金利の影響で当四半期に **4.0%** 減少しました。手数料収入⁴ に関しては、金融手数料の減少を銀行手数料の増加が一部補ったものの、当四半期に **1.7%** の減収となりました。

営業費用⁴ は、コスト抑制策が奏功して前年同期から **0.4%** の微増に留まりました。

¹ CM11-CIC グループ

² フランス（PEL/CEL の影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの 100%を含む

³ PEL/CEL の影響を除く（2016 年度第 3 四半期は -700 万ユーロ、2015 年度第 3 四半期は -200 万ユーロ）

⁴ フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む（PEL/CEL の影響を除く）

これらを受けて当四半期の営業総利益¹は4億2300万ユーロとなり、前年同期から11.6%減少しました。

リスク費用¹は、前年同期から700万ユーロ減少して7200万ユーロとなったことが示すように、依然として低い水準にあり、融資残高の20bp相当でした。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、FRBの税引前利益²は当四半期に3億1700万ユーロとなり、前年同期比-11.9%の減益でした。

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc) の当四半期の融資残高は、個人顧客を始めとして借入需要が徐々に回復したため、前年同期と比べて+0.2%増加しました。預金残高は、個人および法人顧客の当座預金の急増を受けて前年同期比13.9%の増加を果たしました。BNL bcはオフバランス貯蓄商品で好業績を収め、2015年9月末と比べて、生命保険残高は+10.2%増加し、またミューチュアルファンドの残高は+10.4%増加しました。BNL bcは引き続き商業銀行業務の商品開発を進めた結果、モバイル向けのマルチサービスの決済ソリューションであるBNL Payの導入に至りました。

営業収益³は前年同期から2.9%減少し、当四半期に7億4100万ユーロとなりました。純利息収入³は前年同期比4.6%減少しましたが、これには長引く低金利環境の影響や、上位法人顧客向け融資の見直しをした影響が尾を引くかたちで現れました。手数料収入³は、金融手数料が復調となった一方で銀行手数料が減少したことから、全体では安定推移しました。

営業費用³は、コスト削減策が奏功したおかげで前年同期比0.5%の微増に抑えられた結果、当四半期に4億4800万ユーロとなりました。

これらを受けて営業総利益³は2億9300万ユーロとなり、前年同期と比べて7.8%減少しました。

リスク費用³は当四半期に融資残高の110bp相当となり、前年同期から9400万ユーロ減少しました。これには、貸出ポートフォリオの質が徐々に改善するとともに、貸倒懸念のある債権残高の減少が貢献していました。

以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bcの税引前利益は当四半期に7000万ユーロに上り、前年同期から大幅に改善されました（+7100万ユーロの増加）。

ベルギー国内リテールバンキング (BRB)

ベルギー国内リテールバンキング (BRB) は、当四半期も積極的な営業活動を展開しました。融資残高は、住宅ローンの需要が特に旺盛で個人顧客向け融資が伸びたことに加え、中小企業 (SME) 向け融資も伸びたため、当四半期に前年同期比5.3%増加しました。一方、預金残高は、とりわけ当座預金が高い伸びを示し、前年同期から7.4%の増加を果たしました。BRBはデジタルバンキング・サービスの拡充を継続し、Easy Banking アプリ用に新たな機能をリリースしました。これには普通預金口座向けのビジュアルグラフィックスや、ピアツーピア (P2P) 決済などが含まれています。BRBはまた、革新的な企業の支援を継続し、スタートアップ企業のアクセラレーターであるCo.Stationを、ブリュッセルでの成功を受けてヘントでも開設しました。

営業収益⁴は当四半期に前年同期比3.8%の増収となり、9億1400万ユーロに上りました。純利息収入⁴は融資残高の増加に伴い前年同期比5.9%増した一方で、手数料収入⁴は金融手数料の減少が響いて前年同期比2.5%減少しました。

¹ フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む (PEL/CELの影響を除く)

² PEL/CELの影響を除く (2016年度第3四半期は-700万ユーロ、2015年度第3四半期は-200万ユーロ)

³ イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む

⁴ ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む

営業費用¹は前年同期比 0.2%減少して 5 億 7500 万ユーロとなりました。なお、当四半期に計上された 2 つの一時項目からの影響²を除くと、営業費用は前年同期比 1.6%増加しました。

営業総利益¹は前年同期から 11.2%増加して 3 億 3900 万ユーロとなりました。

リスク費用¹は、当四半期に 1900 万ユーロで融資残高の 8bp 相当となり、極めて低い水準でした。前年同期においては相殺後で貸倒引当金戻入益が計上されたため、当四半期のリスク費用は前年同期の水準からは 2100 万ユーロ増加しました。

以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BRB の税引前利益は当四半期に 3 億 500 万ユーロに上り、前年同期と比べて+8.1%の急増を果たしました。

その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、ルクセンブルク国内リテールバンキング）

国内市場部門の専門的金融業務は、当四半期も全体的に力強い事業展開を押し進めました。

アルバルでは、業務活動を高水準で維持した結果、ファイナンス・フリートが高い伸びを示し、連結範囲の変更による影響を除いても前年同期比+11.0%増加して、契約台数は 100 万台を超えました。アルバルはまた、買収した欧州の **GE Fleet Services** の統合を積極的に進めました。

リーシング・ソリューションズでは、ノンコア資産の継続的な圧縮にも関わらず、コア事業の伸びが好調で、リース残高は連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いても、前年同期比+5.7%の増加を果たしました。個人投資家部門では、新規顧客の獲得が順調に進んだ一方で、ドイツで仲介業務の減少が当四半期に報告されました。

ルクセンブルク国内リテールバンキングでは、特に住宅ローンの伸びに支えられて、融資残高が前年同期比 1.2%増加しました。預金残高は、とりわけ法人顧客セグメントで旺盛な資金流入があったことから、前年同期比 17.3%の大幅増となりました。

その他国内市場部門の当四半期の営業収益³は、前年同期比 7.0%の増収となり 6 億 6900 万ユーロに上りました。これには欧州の **GE Fleet Services** の買収効果が反映されています。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、当四半期の営業収益はアルバルおよびリーシング・ソリューションズが牽引して前年同期比 1.9%の増収でした。

営業費用³は前年同期と比べて 10.4%増加し、3 億 6700 万ユーロとなりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、事業開発を反映して営業費用は前年同期から 4.2%増加しました。

リスク費用³は、前年同期から 1000 万ユーロ減少して 2300 万ユーロとなりました。

以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、これら 4 つの業務部門による国内市場部門の税引前利益への貢献は、当四半期に 3 億 100 万ユーロとなり、前年同期と比べて+12.1%の急増を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+7.5%の増益）。

*
* *

¹ ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む

² 費用に関する引当金の一部戻入れによるプラス効果を、金融機関に課される新税の影響がこれを一部打消し

³ ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの 100%を含む

国際金融サービス部門

国際金融サービス部門は、意欲的な販売およびマーケティング活動を展開しました：パーソナル・ファイナンスは活発な業務活動を維持しました；欧州・地中海沿岸諸国部門およびバンクウェストでは、営業活動が高い伸びを示しました；保険およびウェルス&アセット・マネジメントでは、高水準の資金を呼び込みました。国際金融サービス部門の積極的な販売およびマーケティング活動はまた、全ての部門においてデジタルバンキングの商品開発やイノベーションで成果を上げたことにも現れています。

営業収益は当四半期に 39 億 4600 万ユーロに上り、前年同期比 3.9%の増収となりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は、保険および国際リテールバンキング部門の高い伸びに押されて、前年同期比+4.6%の増収を果たしました。

営業費用は当四半期に 23 億 1900 万ユーロとなり、前年同期から 3.4%増加しました。なお連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、事業の成長を反映して前年同期比 4.2%増加しました。

これらを受けて営業総利益は当四半期に 16 億 2700 万ユーロとなり、前年同期と比べて 4.5%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.2%の増加）。

当四半期のリスク費用は 3 億 7600 万ユーロとなり、前年同期から 4100 万ユーロ減少しました。これにはとりわけ、パーソナル・ファイナンスでのリスク費用の減少が貢献しました。

これにより営業利益は当四半期に 12 億 5100 万ユーロに上り、前年同期比 9.7%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+10.3%の増加）。

以上から、国際金融サービス部門の当四半期の税引前利益は 13 億 7300 万ユーロに上り、前年同期と比べて+8.0%の急増を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+10.6%の増益）。

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスは、引き続き意欲的な販売およびマーケティング活動に取り組みました。融資残高は、ユーロ圏における借入需要の高まりに加え新たな提携関係が実を結び、前年同期と比べて+9.1%¹増加しました。パーソナル・ファイナンスは当四半期においても新たなパートナーシップを締結し（スペインの **Electro Dépôt**）、またポルトガルの **Decathlon** とのパートナーシップを強化しました。自動車ローン業務は積極的な事業開発を継続し、フランスでホンダと新たな提携契約を結びました。さらに、パーソナル・ファイナンスはファイルのデジタルプロセスの拡充を継続した結果、中欧およびベルギーで電子署名導入の第一段階に踏み切りました。

営業収益は、為替相場が不利に動いたことから、当四半期に前年同期比 0.2%増加して 11 億 7700 万ユーロとなりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は前年同期比 0.9%の増収でした。その背景には、取引高が増加した一方で、より有利なリスクプロファイルを伴う商品へのシフト傾向がこれを一部打ち消したことがあります。

営業費用は当四半期に前年同期比 0.2%減少して 5 億 4400 万ユーロとなりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業費用は事業開発を反映して前年同期比 0.9%増加しました。

これらを受けて当四半期の営業総利益は 6 億 3200 万ユーロとなり、前年同期から 0.5%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.9%の増加）。

リスク費用は当四半期に 2 億 4000 万ユーロとなり、融資残高の 154bp 相当でした。当四半期のリスク費用は、低金利環境やより有利なリスクプロファイル商品（特に自動車ローン）へのシフト傾向が寄与して、前年同期から-4700 万ユーロの大幅減少となりました。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当四半期に 4 億 1100 万ユーロに上り、前年同期と比べて +12.9%の大幅増益となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+13.5%の増益）。

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国では事業が順調な伸びを示しました。融資残高は、当四半期に全ての地域で増加したことから、前年同期と比べて 3.9%¹ 増加しました。預金残高は、全ての国で高い伸びを示し、前年同期比 10.4%¹ 増加しました。当部門は引き続きデジタルバンキングの開発を押し進めた結果、トルコで CEPTETEB の顧客数が 320,000 口座に達し、またポーランドでは BGZ OPTIMA の顧客数が 197,000 口座に上りました。

営業収益²は、取扱高の増加とマージンの拡大を受けて当四半期に 6 億 5900 万ユーロとなり、前年同期と比べて 10.3%¹ の増収を果たしました。

営業費用²は、当四半期に 4 億 1300 万ユーロで前年同期比 4.6%¹ 増加しました。なお、ポーランドで導入された銀行業務に課される税金の影響を除くと、営業費用は前年同期比 1.6%¹ の増加となりました。これは経費抑制策が奏功していることに加え、ポーランドでコストシナジーが生み出されていることを反映しています。

リスク費用²は当四半期に 1 億 2700 万ユーロとなり、融資残高の 129bp 相当でした。また前年同期との比較では、トルコでリスク費用が上昇したため、1600 万ユーロ増加しました。

以上から、関連会社による利益貢献の増加を考慮し、またトルコのプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当四半期に 1 億 6500 万ユーロに上り、前年同期と比べて+24.2%³の大幅増益を果たしました。当四半期はトルコの増益幅が著しく、マージンの拡大効果がリスク費用の増加を凌いだ結果でした。

バンクウエスト

バンクウエストは米国の良好な経済環境を背景に、当四半期も積極的な事業展開を押し進めました。

融資残高は、法人向け融資および消費者ローンが引き続き伸びたことから、前年同期比 9.2%¹ 増加しました。預金残高は、当座預金および普通預金の高い伸びが牽引し、前年同期比 10.1%¹ 増加しました。バンクウエストは当四半期もプライベート・バンキング業務の拡充を押し進めた結果、2016 年 9 月末の運用資産残高は 114 億米ドルに上り、2015 年 9 月末比で+17%の増加を果たしました。

当四半期はまた、ファースト・ハワイアン・バンクの新規公開（IPO）を成功裏に終えた記念すべき四半期となりました（株式の 17.4%を市場に流通させました）。ファースト・ハワイアン・バンクは、グループが支配を維持する限り今後も連結子会社となります。

営業収益⁴は当四半期に 7 億 2800 万ユーロに上り、前年同期と比べて 4.4%¹ の増収となりました。前年同期から当四半期にかけての金利の低下がマイナス要因として作用しましたが、これを凌いで取扱高の増加が営業収益を押し上げました。

営業費用⁴は当四半期に 5 億 100 万ユーロで、前年同期から 8.6%¹ 増加しました。これにはファースト・ハワイアン・バンクの IPO 費用に加え、コンプライアンス費用の増加、および営業体制の強化（プライベート・バンキング、法人業務、消費者金融業務など）による費用の増加が影響しました。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² トルコのプライベート・バンキングの 100%を含む

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含む場合+14.3%）

⁴ 米国プライベート・バンキングの 100%を含む

当四半期のリスク費用¹は 1400 万ユーロとなり、融資残高の 9bp で依然として極めて低い水準でした。また、前年同期と比べると 500 万ユーロ減少しました。

以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、バンクウエストの税引前利益は当四半期に 2 億 1000 万ユーロとなり、前年同期と比べて-5.5%²の減益でした。

保険およびウェルス&アセット・マネジメント

保険およびウェルス&アセット・マネジメントの運用資産残高³は、2016 年 9 月末現在で 1 兆 40 億ユーロに上り過去最高の水準に達しました（2015 年 9 月末比で+9.3%の増加）。また、2015 年 12 月末の水準からは 500 億ユーロ増加しましたが、これには特に、329 億ユーロに上る極めて高水準の純資金流入があったことに加え、良好な運用パフォーマンス効果（192 億ユーロ）が貢献しました。（なお、純資金流入の状況は以下のように推移しました：フランス、イタリアおよびアジアにおけるウェルス・マネジメントで高い資金流入がありました；アセット・マネジメントではとりわけ分散型ファンドおよび債券ファンドへ旺盛な資金流入がありました；保険部門では国内市場で高い資金流入がありました。）

アセット・マネジメント部門では当四半期に高水準の資金流入がありましたが、同部門の販売およびマーケティング努力の成果は、新たな債券ファンド（BNP Paribas European SME Debt Fund）の設定にも現れています。当該ファンドは国内市場部門との連携で募集し、5 億ユーロの資金を集めました。

2016 年 9 月末現在、保険およびウェルス&アセット・マネジメントの運用資産残高³の部門別内訳は以下のとおりでした：アセット・マネジメントは 4130 億ユーロ；ウェルス・マネジメントは 3410 億ユーロ；保険部門は 2270 億ユーロ；不動産管理部門は 230 億ユーロ。

保険部門では、営業収益は当四半期に 6 億 7900 万ユーロに上り、前年同期と比べて 17.2%の増収でした。これに反映されている主な要因として、ひとつには、当四半期の金融市場が前年同期の下落相場と比べて上昇した効果が挙げられ、もうひとつには、資産の売却により多額の実現益が計上されたことがあります。営業費用は、事業開発を反映して当四半期に 2 億 9900 万ユーロとなり、前年同期比 7.5%増加しました。税引前利益は当四半期に 4 億 2700 万ユーロとなり、前年同期と比べて+28.6%の大幅増益を果たしました。

ウェルス&アセット・マネジメント部門では、営業収益は市場が活気を欠くなか底堅く推移し、当四半期に 7 億 1800 万ユーロとなり、前年同期比-2.9%の減収でした。営業費用は、とりわけウェルス・マネジメントでの事業開発が影響し、当四半期は 5 億 7200 万ユーロに上り、前年同期 2.4%増加しました。以上より、国内市場部門、トルコおよび米国からプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメントの税引前利益は当四半期に 1 億 6100 万ユーロとなり、前年同期と比べて 16.1%の減益でした。

*
* *

ホールセールバンキング事業（CIB）

ホールセールバンキング事業（CIB）は、当四半期に業務活動および収益面で着実に成長を果たしたことから、事業部門全体にわたり良好な業績を収めました。CIB は意欲的に事業改編計画を実施し、明確なスケジュールに沿った成果を上げるとともに、全ての地域で経費節減策を始動させました。

CIB の営業収益は当四半期に 29 億 500 万ユーロに上り、前年同期と比べて 13.2%の増収を果たしました。

¹ 米国プライベート・バンキングの 100%を含む

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含む場合-12.6%）

³ 分配金を含む

グローバルマーケット部門の営業収益は、顧客業務が堅調に推移したことから、当四半期に 14 億 9000 万ユーロに上り、前年同期と比べて 19.7%の増収となりました。FICC¹（フィクストインカム・通貨・コモディティ）業務の営業収益は 10 億 8200 万ユーロに上り、金利および為替業務が若干活気を欠いた前年同期と比べて 41.3%の増加を果しました。当四半期に全ての業務セグメントで高い伸びを示した結果、BNPパリバは新発債市場において、ユーロ建て全債券で No. 1 に、また全国際債券で No. 9 にランクインしました。株式およびプライムサービス業務については、当四半期の営業収益は 4 億 800 万ユーロとなり、プライムサービス業務の確かな伸びにも関わらず、高水準であった前年同期と比べて 14.8%減少しました。なお、前年同期は株式相場が低迷する環境にあっても、株式およびプライムサービス業務は好業績を収めました。市場リスクを測定するバリュー・アット・リスク（VaR）は、当四半期に 2800 万ユーロで極めて低い水準に留まりました。

セキュリティーズ・サービス部門（証券管理部門）の営業収益は、カスタディ業務の受託資産や管理資産の増加に伴い、当四半期は 4 億 5700 万ユーロで前年同期と比べて 2.9%増加しました。

コーポレートバンキング部門の営業収益は、事業の高い伸びを受けて当四半期は 9 億 5800 万ユーロに上り、前年同期と比べて 9.2%の増収となりました。手数料収入は前年同期比 7.7%増加しました。地域別では、営業収益は欧州および南北アメリカ大陸で大幅増となった一方、2016 年に市場が活気を欠くアジアパシフィックでは穏やかな増収となりました。融資残高は、当四半期に 1300 億ユーロに上り前年同期比 4.1%増加するとともに、全ての地域で伸びを示しました。コーポレートバンキング部門は、メディアテレコム、不動産、および企業買収業務で好業績を収めました。またトランザクションバンキング業務（キャッシュマネジメントおよびトレードファイナンス）の拡充を進めた結果、キャッシュマネジメント業務でグローバル No. 4 にランクインしました²。

CIB の営業費用は当四半期に 20 億 2200 万ユーロに上り、事業の成長を反映して前年同期比 3.5%増加しました。コスト管理は万全で、当四半期も費用節減策の効果が発揮されました。

CIB のリスク費用は当四半期に 7400 万ユーロとなり、前年同期からは 3400 万ユーロ増加しましたが、それでも低い水準に留まりました。コーポレートバンキング部門のリスク費用は、7900 万ユーロの低水準で融資残高の 26bp 相当でした（前年同期から 2800 万ユーロの増加）。グローバルマーケット部門のリスク費用には、相殺後で 500 万ユーロの貸倒引当金戻入益が計上されました（前年同期は 1100 万ユーロの貸倒引当金戻入益を計上）。

以上から、CIB の税引前利益は当四半期に前年同期比+41.7%の大幅増となり、8 億 1200 万ユーロに上りました。

*
* *

コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は、当四半期に-4500 万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は 1 億 9800 万ユーロでした。当四半期の営業収益には、自己負債の再評価に関わる修正額（Own Credit Adjustment: OCA）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（Debt Value Adjustment: DVA）による影響として、合計で-2 億 200 万ユーロが含まれていました（前年同期は+3700 万ユーロ）。プリンシパル・インベストメントによる収益貢献は、前年同期の高水準から当四半期もさらに拡大しました。

営業費用は当四半期に 3 億 8100 万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は 3 億 200 万ユーロでした。当四半期の営業費用には、一連の買収³に関わる事業再編費用として 3700 万ユーロ（前年同期は 3400 万ユーロ）に加え、CIB 部門の事業改編費用が 2 億 1600 万ユーロ含まれていました（前年同期はゼロ）。かかる事業改編費用の水準は、CIB が改編計画をいかに速やかに実施しているかを反映しています。なお、Simple & Efficient 計画に関わる事業改編費用は、当四半期に計上されていません（前年同期は 1 億 2600 万ユーロ）：従来の目標どおり、同計画に関わる最終的な費用が 2015 年度第 4 四半期に計上されました。

¹ Fixed Income, Currencies, and Commodities

² ユーロマネー誌 2016 年サーベイ

³ LaSer、BGZ 銀行、DAB バンク、および General Electric LLD

リスク費用は、当四半期に相殺後で 1300 万ユーロの貸倒引当金戻入益が計上されました。これに対し前年同期は 600 万ユーロの貸倒引当金繰入額が計上されました。

営業外損益は当四半期に+2200 万ユーロの利益となりました（前年同期は+1400 万ユーロの利益）。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益は当四半期に-3 億 9100 万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は-8400 万ユーロでした。

*
* *

財務構造

グループは盤石なバランスシートを有しています。

バーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier 1 比率¹は、2016 年 6 月末の水準から 30bp 上昇し、2016 年 9 月末現在で 11.4%になりました。これには基本的に当四半期の業績が貢献しており、以下の要素を織り込んでいます：配当性向 45%を考慮後の内部留保（約+20bp）、および、株式の 17.4%を市場に流通させたファースト・ハワイアン・バンクの IPO による影響（約+5bp）。リスク加重資産は、為替レート変動による影響を除くと、当四半期に安定推移しました。なお為替の変動がエクイティ Tier 1 比率に及ぼした影響は、全体的に軽微でした。

バーゼル 3 全面適用のレバレッジ比率²は Tier 1 資本全部に基づき算定されますが、同比率は 2016 年 9 月末現在で 4.0%となり、2016 年 6 月末の水準から安定推移しました。

流動性カバレッジ比率は、2016 年 9 月末現在で 127%となりました。

グループの即時利用可能な余剰資金は 2016 年 9 月末現在、3260 億ユーロに上りました（対して 2016 年 6 月末は 2910 億ユーロ）。これは短期資金調達との関係で 1 年超の余裕資金があることを意味します。

グループの自己資本規制に関わる比率の推移は、グループが事業成長を通して着実に自己資本を積上げていること、および、規律を持ってバランスシートを管理する能力があることを証明しています。

2016 年、監督上の検証・評価プロセス（SREP）の結果

欧州中央銀行（ECB）が実施した 2016 年の監督上の検証・評価プロセス（Supervisory Review and Evaluation Process : SREP）を受けて、段階的に実施される最低所要自己資本比率（エクイティ Tier1 比率）に関して、グループが連結ベースで満たすべき水準は、2017 年時点で 8.0%³に設定されました。うち、G-SIB（グローバルなシステム上重要な銀行）バッファが 1%、資本保全バッファが 1.25%、および、第 2 の柱の所要水準（Pillar 2 requirement : P2R）が 1.25%となります（ただし、公表されていない第 2 の柱のガイダンス（Pillar 2 guidance : P2G）を除く）。よって、2017 年時点でグループが満たすべき総自己資本比率は 11.5%³となります。これに対し 2016 年 9 月末現在、グループの段階的に実施されるバーゼル 3 エクイティ Tier 1 比率⁴は 11.6%となり、また段階的に実施される総自己資本比率は 14.4%に達していたことから、グループは最低所要水準を優に満たしていることとなります。

資本保全バッファが最終的に 2.5%へと段階的に引き上げられること、および G-SIB バッファ 2.0%を前提にすると、2019 年時点で予想されるバーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier1 比率は 10.25%となります

¹ 経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）規則を考慮した比率。また、欧州議会・理事会規則（EU）No 575/2013 第 26 条第 2 項に従う

² 2019 年に完全施行される CRD4 規則を経過措置なしで全て考慮し、また 2014 年 10 月 10 日付けの欧州委員会（EC）委任法令に基づき算定された比率

³ ECB からの事前通知による確認に従う

⁴ 資本要求規則（Capital Requirements Regulation: CRR）に関わる経過措置を考慮後（ただし、のれんは全額控除）。また、欧州議会・理事会規則（EU）No 575/2013 第 26 条第 2 項に従う

(ただし Pillar 2 guidance を除く)。かかるエクイティ Tier1 比率は、分配に関する規制 (Maximum Distributable Amount : MDA) を考慮した上で、2019 年¹から必要となる水準を表しています。同様に、2019 年²時点の所要総自己資本比率は 13.75%と予想されます。

これに対し、BNP パリバは、バーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier1 比率で 12%、また総自己資本比率で 15%超という目標を変えていません。

*
* *

以上の決算内容について、ジャン＝ローラン・ボナフェ最高経営責任者は次のように述べています。

「株主帰属純利益の 19 億ユーロが示すように、BNP パリバは当四半期に好業績を収めました。

顧客ニーズに対応するよう統合され多様化したビジネスモデルのおかげで、低金利環境にも関わらず、事業部門は順調に営業収益を伸ばしました。また、リスク費用は大幅に減少しました。

グループのバランスシートは盤石です。さらに、バーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier 1 比率が 11.4%へと上昇したことは、グループが事業成長を通して着実に自己資本を積上げていることを証明しています。

2014-2016 年度事業計画が掲げる目標に沿う好業績を、当四半期に収めることができました。ここに BNP パリバの全従業員への貢献に感謝の意を表します。」

¹ 2017 年は 8%

² 留意点：所要 Tier 1 比率および総自己資本比率は累計で計算される：これらには現在、第 2 の柱における Pillar 2 requirement (P2R) は含まれるが、Pillar 2 guidance (P2G) は含まれていない。

連結損益計算書

	3Q16	3Q15	3Q16 / 3Q15	2Q16	3Q16 / 2Q16	9M16	9M15	9M16 / 9M15
<i>(単位：百万ユーロ)</i>								
営業収益	10,589	10,345	+2.4%	11,322	-6.5%	32,755	32,489	+0.8%
営業費用および減価償却費	-7,217	-6,957	+3.7%	-7,090	+1.8%	-21,934	-21,848	+0.4%
営業総利益	3,372	3,388	-0.5%	4,232	-20.3%	10,821	10,641	+1.7%
リスク費用	-764	-882	-13.4%	-791	-3.4%	-2,312	-2,829	-18.3%
営業利益	2,608	2,506	+4.1%	3,441	-24.2%	8,509	7,812	+8.9%
持分法による投資損益	163	134	+21.6%	165	-1.2%	482	435	+10.8%
その他営業外項目	9	29	-69.0%	-81	n.s.	-48	659	n.s.
営業外損益	172	163	+5.5%	84	n.s.	434	1,094	-60.3%
税引前利益	2,780	2,669	+4.2%	3,525	-21.1%	8,943	8,906	+0.4%
法人税	-790	-770	+2.6%	-864	-8.6%	-2,374	-2,616	-9.3%
少数株主帰属純利益	-104	-73	+42.5%	-101	+3.0%	-309	-261	+18.4%
株主帰属純利益	1,886	1,826	+3.3%	2,560	-26.3%	6,260	6,029	+3.8%
営業収益対コスト比率	68.2%	67.2%	+1.0 pt	62.6%	+5.6 pt	67.0%	67.2%	-0.2 pt

BNP パリバの2016年度第3四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーション資料に含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。

2016 年度第 3 四半期 – コア事業別業績

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門				
<i>(単位：百万ユーロ)</i>						
営業収益	3,782	3,946	2,905	10,634	-45	10,589
対前年同期比	+0.0%	+3.9%	+13.2%	+4.8%	n.s.	+2.4%
対前四半期比	-0.5%	+3.5%	-4.9%	-0.4%	n.s.	-6.5%
営業費用および減価償却費	-2,494	-2,319	-2,022	-6,836	-381	-7,217
対前年同期比	+1.4%	+3.4%	+3.5%	+2.7%	+26.5%	+3.7%
対前四半期比	+4.9%	+0.7%	-4.4%	+0.6%	+29.3%	+1.8%
営業総利益	1,288	1,627	883	3,798	-426	3,372
対前年同期比	-2.5%	+4.5%	+44.3%	+8.8%	n.s.	-0.5%
対前四半期比	-9.6%	+7.8%	-6.2%	-2.0%	n.s.	-20.3%
リスク費用	-327	-376	-74	-777	13	-764
対前年同期比	-22.0%	-9.7%	+85.8%	-11.3%	n.s.	-13.4%
対前四半期比	-14.9%	+5.9%	+62.2%	-1.0%	n.s.	-3.4%
営業利益	961	1,251	809	3,021	-413	2,608
対前年同期比	+6.5%	+9.7%	+41.4%	+15.5%	n.s.	+4.1%
対前四半期比	-7.6%	+8.3%	-9.7%	-2.3%	n.s.	-24.2%
持分法による投資損益	18	122	2	141	22	163
その他営業外項目	8	1	1	9	0	9
税引前利益	987	1,373	812	3,171	-391	2,780
対前年同期比	+8.6%	+8.0%	+41.7%	+15.2%	n.s.	+4.2%
対前四半期比	-6.5%	+8.8%	-10.5%	-1.6%	n.s.	-21.1%

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門				
(単位：百万ユーロ)						
営業収益	3,782	3,946	2,905	10,634	-45	10,589
前年同期	3,781	3,799	2,567	10,147	198	10,345
前四半期	3,803	3,813	3,056	10,672	650	11,322
営業費用および減価償却費	-2,494	-2,319	-2,022	-6,836	-381	-7,217
前年同期	-2,459	-2,242	-1,955	-6,655	-302	-6,957
前四半期	-2,378	-2,303	-2,115	-6,795	-295	-7,090
営業総利益	1,288	1,627	883	3,798	-426	3,372
前年同期	1,322	1,558	612	3,491	-103	3,388
前四半期	1,425	1,510	942	3,876	356	4,232
リスク費用	-327	-376	-74	-777	13	-764
前年同期	-420	-417	-40	-876	-6	-882
前四半期	-385	-355	-46	-786	-5	-791
営業利益	961	1,251	809	3,021	-413	2,608
前年同期	902	1,141	572	2,615	-109	2,506
前四半期	1,040	1,155	896	3,091	350	3,441
持分法による投資損益	18	122	2	141	22	163
前年同期	14	103	2	120	14	134
前四半期	13	111	13	137	28	165
その他営業外項目	8	1	1	9	0	9
前年同期	-7	27	-2	18	11	29
前四半期	2	-4	-2	-4	-77	-81
税引前利益	987	1,373	812	3,171	-391	2,780
前年同期	908	1,272	573	2,753	-84	2,669
前四半期	1,055	1,262	907	3,224	301	3,525
法人税						-790
少数株主帰属純利益						-104
株主帰属純利益						1,886

2016年1-9月期 - コア事業別業績

		リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計
		国内市場 部門	国際金融 サービス部門				
<i>(単位：百万ユーロ)</i>							
営業収益		11,429	11,454	8,648	31,532	1,223	32,755
	対前年同期比	-0.1%	+0.5%	-2.8%	-0.6%	+61.2%	+0.8%
営業費用および減価償却費		-7,617	-7,063	-6,395	-21,075	-859	-21,934
	対前年同期比	+1.8%	+1.9%	-1.3%	+0.9%	-10.1%	+0.4%
営業総利益		3,812	4,391	2,253	10,456	365	10,821
	対前年同期比	-3.8%	-1.6%	-6.6%	-3.5%	n.s.	+1.7%
リスク費用		-1,111	-1,071	-148	-2,329	17	-2,312
	対前年同期比	-17.1%	-18.4%	-1.5%	-16.9%	n.s.	-18.3%
営業利益		2,702	3,320	2,105	8,127	382	8,509
	対前年同期比	+3.0%	+5.4%	-6.9%	+1.1%	n.s.	+8.9%
持分法による投資損益		40	360	12	412	70	482
その他営業外項目		8	7	4	20	-68	-48
税引前利益		2,750	3,687	2,121	8,559	384	8,943
	対前年同期比	+4.8%	+4.5%	-13.0%	-0.4%	+22.5%	+0.4%
法人税							-2,374
少数株主帰属純利益							-309
株主帰属純利益							6,260

連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
グループ							
営業収益	10,589	11,322	10,844	10,449	10,345	11,079	11,065
営業費用および減価償却費	-7,217	-7,090	-7,627	-7,406	-6,957	-7,083	-7,808
営業総利益	3,372	4,232	3,217	3,043	3,388	3,996	3,257
リスク費用	-764	-791	-757	-968	-882	-903	-1,044
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	-100	0	0	0
営業利益	2,608	3,441	2,460	1,975	2,506	3,093	2,213
持分法による投資損益	163	165	154	154	134	164	137
その他営業外項目	9	-81	24	-656	29	428	202
税引前利益	2,780	3,525	2,638	1,473	2,669	3,685	2,552
法人税	-790	-864	-720	-719	-770	-1,035	-811
少数株主帰属純利益	-104	-101	-104	-89	-73	-95	-93
株主帰属純利益	1,886	2,560	1,814	665	1,826	2,555	1,648
営業収益対コスト比率	68.2%	62.6%	70.3%	70.9%	67.2%	63.9%	70.6%

(単位: 百万ユーロ)	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
リテールバンキングおよびサービス事業 PEL/CEL の影響を除く							
営業収益	7,735	7,636	7,522	7,681	7,582	7,719	7,571
営業費用および減価償却費	-4,813	-4,681	-5,187	-5,049	-4,701	-4,636	-5,074
営業総利益	2,922	2,956	2,335	2,632	2,881	3,082	2,496
リスク費用	-704	-740	-738	-882	-837	-865	-950
営業利益	2,218	2,216	1,598	1,750	2,045	2,218	1,546
持分法による投資損益	140	124	136	138	117	139	115
その他営業外項目	9	-2	8	-8	20	-2	-10
税引前利益	2,367	2,339	1,742	1,881	2,182	2,355	1,651
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	48.8	48.6	48.7	48.4	48.4	48.3	47.7
(単位: 百万ユーロ)							
リテールバンキングおよびサービス事業							
営業収益	7,728	7,615	7,540	7,685	7,580	7,713	7,543
営業費用および減価償却費	-4,813	-4,681	-5,187	-5,049	-4,701	-4,636	-5,074
営業総利益	2,915	2,935	2,353	2,637	2,879	3,077	2,469
リスク費用	-704	-740	-738	-882	-837	-865	-950
営業利益	2,212	2,195	1,616	1,755	2,042	2,212	1,519
持分法による投資損益	140	124	136	138	117	139	115
その他営業外項目	9	-2	8	-8	20	-2	-10
税引前利益	2,360	2,318	1,760	1,885	2,180	2,349	1,623
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	48.8	48.6	48.7	48.4	48.4	48.3	47.7
(単位: 百万ユーロ)							
国内市場部門(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CEL の影響を除く							
営業収益	3,923	3,962	3,963	3,905	3,920	3,982	3,991
営業費用および減価償却費	-2,567	-2,449	-2,818	-2,713	-2,526	-2,398	-2,755
営業総利益	1,356	1,513	1,145	1,191	1,394	1,584	1,235
リスク費用	-329	-388	-399	-471	-419	-433	-490
営業利益	1,028	1,124	746	721	975	1,152	745
持分法による投資損益	18	13	9	22	14	9	5
その他営業外項目	8	2	-2	-7	-7	-4	-15
税引前利益	1,054	1,140	753	735	981	1,156	736
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-61	-63	-63	-60	-71	-72	-70
国内市場部門税引前利益	993	1,076	690	675	911	1,084	666
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	22.9	22.9	22.9	22.7	22.6	22.6	22.6
(単位: 百万ユーロ)							
国内市場部門(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	3,782	3,803	3,844	3,782	3,781	3,842	3,821
営業費用および減価償却費	-2,494	-2,378	-2,745	-2,646	-2,459	-2,336	-2,685
営業総利益	1,288	1,425	1,099	1,137	1,322	1,506	1,136
リスク費用	-327	-385	-398	-471	-420	-432	-488
営業利益	961	1,040	701	666	902	1,074	648
持分法による投資損益	18	13	9	21	14	9	5
その他営業外項目	8	2	-2	-7	-7	-4	-15
税引前利益	987	1,055	708	680	908	1,078	638
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	22.9	22.9	22.9	22.7	22.6	22.6	22.6

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位：百万ユーロ)

	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
フランス国内リテールバンキング(フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)*							
営業収益	1,594	1,587	1,661	1,608	1,649	1,663	1,646
うち受取利息純額	916	879	972	951	959	929	934
うち手数料	678	709	689	657	690	734	713
営業費用および減価償却費	-1,178	-1,106	-1,173	-1,207	-1,172	-1,097	-1,164
営業総利益	416	481	488	401	477	565	483
リスク費用	-72	-72	-73	-88	-79	-87	-89
営業利益	345	408	415	313	398	478	394
営業外損益	0	1	1	1	1	1	1
税引前利益	345	409	416	314	398	479	395
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-34	-32	-39	-34	-41	-43	-42
フランス国内リテールバンキング税引前利益	310	377	377	281	358	436	353
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	8.6	8.5	8.6	8.3	8.3	8.3	8.3

(単位：百万ユーロ)

	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
フランス国内リテールバンキング(フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CELの影響を除く**							
営業収益	1,601	1,608	1,643	1,603	1,651	1,668	1,674
うち受取利息純額	923	900	954	946	961	935	961
うち手数料	678	709	689	657	690	734	713
営業費用および減価償却費	-1,178	-1,106	-1,173	-1,207	-1,172	-1,097	-1,164
営業総利益	423	502	470	396	479	571	510
リスク費用	-72	-72	-73	-88	-79	-87	-89
営業利益	351	430	397	308	400	484	422
営業外損益	0	1	1	1	1	1	1
税引前利益	351	430	398	309	401	485	422
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-34	-32	-39	-34	-41	-43	-42
フランス国内リテールバンキング税引前利益	317	398	359	276	360	442	380
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	8.6	8.5	8.6	8.3	8.3	8.3	8.3

(単位：百万ユーロ)

	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
フランス国内リテールバンキング(フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	1,523	1,516	1,588	1,539	1,576	1,588	1,570
営業費用および減価償却費	-1,141	-1,068	-1,139	-1,173	-1,141	-1,065	-1,130
営業総利益	382	448	450	367	436	523	440
リスク費用	-71	-72	-73	-87	-79	-87	-88
営業利益	311	376	377	280	357	436	352
営業外損益	0	1	1	1	1	1	1
税引前利益	310	377	377	281	358	436	353
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	8.6	8.5	8.6	8.3	8.3	8.3	8.3

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

** PEL/CEL に関わる引当金：当該引当金は、住宅積立預金口座 (Plans Epargne Logement: PEL) および住宅預金口座 (Comptes Epargne Logement: CEL) から生じるリスクについて、口座の存続期間全体にわたり設定されている。

(単位：百万ユーロ)

	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
PEL/CELの影響	-7	-21	18	5	-2	-6	-28

(単位：百万ユーロ)

	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
BNL バンカ・コメルシアール (イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む) *							
営業収益	741	749	737	781	763	797	809
営業費用および減価償却費	-448	-433	-462	-550	-446	-443	-464
営業総利益	293	317	275	230	317	354	345
リスク費用	-215	-242	-274	-300	-309	-318	-321
営業利益	78	74	1	-70	8	36	24
営業外損益	0	0	0	0	0	0	-1
税引前利益	78	74	1	-70	8	36	23
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-9	-9	-10	-10	-9	-11	-10
BNL バンカ・コメルシアール税引前利益	70	65	-8	-80	-1	24	13
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.8	5.9	6.0	6.5	6.5	6.5	6.6

(単位：百万ユーロ)

	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
BNL バンカ・コメルシアール (イタリア国内プライベート・バンキングの 2/3を含む)							
営業収益	721	730	718	762	745	777	790
営業費用および減価償却費	-438	-423	-453	-541	-437	-434	-455
営業総利益	284	307	265	221	308	342	335
リスク費用	-214	-242	-274	-301	-309	-318	-321
営業利益	70	65	-8	-80	-1	24	14
営業外損益	0	0	0	0	0	0	-1
税引前利益	70	65	-8	-80	-1	24	13
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.8	5.9	6.0	6.5	6.5	6.5	6.6

(単位：百万ユーロ)

	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む) *							
営業収益	914	923	917	882	880	893	897
営業費用および減価償却費	-575	-555	-791	-588	-576	-525	-773
営業総利益	339	367	126	295	305	368	123
リスク費用	-19	-49	-21	-52	2	-2	-34
営業利益	320	318	106	243	306	366	90
持分法による投資損益	5	5	-4	3	3	5	-1
その他営業外項目	-2	0	0	5	-7	-4	-13
税引前利益	323	323	102	250	303	367	76
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-18	-21	-14	-14	-20	-17	-17
ベルギー国内リテールバンキング税引前利益	305	302	88	235	283	350	60
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4

(単位：百万ユーロ)

	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの 2/3を含む)							
営業収益	871	878	875	846	838	856	852
営業費用および減価償却費	-550	-534	-763	-565	-551	-506	-747
営業総利益	321	344	112	280	286	350	105
リスク費用	-19	-46	-20	-52	0	-1	-32
営業利益	302	297	92	228	286	349	73
持分法による投資損益	5	5	-4	3	3	5	-1
その他営業外項目	-2	0	0	5	-7	-4	-13
税引前利益	305	302	88	235	283	350	60
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の 100%を含む

(単位：百万ユーロ)	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む)*							
営業収益	669	681	666	638	625	624	611
営業費用および減価償却費	-367	-355	-393	-368	-332	-332	-354
営業総利益	302	327	273	270	293	292	257
リスク費用	-23	-25	-31	-31	-33	-26	-47
営業利益	279	302	242	240	260	266	210
持分法による投資損益	13	8	12	18	10	3	5
その他営業外項目	10	3	-2	-13	0	0	-1
税引前利益	301	312	252	245	270	269	214
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	0	-1	-1	-1	-1	-1	-1
その他国内市場部門税引前利益	301	311	251	244	269	267	213
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	3.8	3.8	3.8	3.5	3.4	3.4	3.3

(単位：百万ユーロ)	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	666	679	663	636	622	621	608
営業費用および減価償却費	-365	-353	-391	-366	-330	-331	-353
営業総利益	301	326	272	269	292	290	255
リスク費用	-23	-25	-31	-31	-33	-26	-47
営業利益	278	301	241	238	259	265	209
持分法による投資損益	13	8	12	18	10	3	5
その他営業外項目	10	3	-2	-13	0	0	-1
税引前利益	301	311	251	244	269	267	213
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	3.8	3.8	3.8	3.5	3.4	3.4	3.3

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位：百万ユーロ)	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
国際金融サービス部門							
営業収益	3,946	3,813	3,696	3,903	3,799	3,871	3,722
営業費用および減価償却費	-2,319	-2,303	-2,442	-2,403	-2,242	-2,300	-2,389
営業総利益	1,627	1,510	1,254	1,500	1,558	1,571	1,333
リスク費用	-376	-355	-339	-411	-417	-432	-462
営業利益	1,251	1,155	915	1,089	1,141	1,138	871
持分法による投資損益	122	111	127	117	103	131	109
その他営業外項目	1	-4	10	0	27	2	5
税引前利益	1,373	1,262	1,052	1,206	1,272	1,271	985
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	25.9	25.7	25.8	25.7	25.7	25.7	25.0
パーソナル・ファイナンス							
営業収益	1,177	1,168	1,149	1,161	1,174	1,164	1,161
営業費用および減価償却費	-544	-547	-609	-580	-545	-581	-609
営業総利益	632	621	540	581	629	583	552
リスク費用	-240	-248	-221	-309	-287	-288	-292
営業利益	392	373	319	273	342	295	260
持分法による投資損益	18	-8	13	21	22	15	17
その他営業外項目	0	-1	1	-1	0	2	-2
税引前利益	411	364	333	293	364	312	276
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	4.9	4.8	4.8	4.5	4.5	4.4	4.2
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの100%を含む) *							
営業収益	659	616	608	626	617	663	609
営業費用および減価償却費	-413	-429	-432	-444	-404	-408	-452
営業総利益	245	187	176	183	213	255	158
リスク費用	-127	-87	-96	-96	-112	-109	-150
営業利益	118	100	80	87	101	146	8
持分法による投資損益	48	53	50	46	44	42	42
その他営業外項目	0	-4	2	1	0	-2	1
税引前利益	166	149	132	134	145	186	51
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	0	-1	-1	-1	-1	-1	-1
欧州・地中海沿岸諸国税引前利益	165	149	132	133	145	185	51
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	5.2	5.2	5.1	5.4	5.4	5.4	5.3
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	656	614	606	625	614	661	607
営業費用および減価償却費	-411	-428	-431	-442	-403	-406	-450
営業総利益	245	187	176	182	212	254	157
リスク費用	-127	-87	-96	-96	-112	-109	-150
営業利益	118	100	80	86	100	145	8
持分法による投資損益	48	53	50	46	44	42	42
その他営業外項目	0	-4	2	1	0	-2	1
税引前利益	165	149	132	133	145	185	51
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	5.2	5.2	5.1	5.4	5.4	5.4	5.3

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位: 百万ユーロ)	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
バンクウエスト (米国プライベート・バンキングの100%を含む) *							
営業収益	728	688	773	735	702	731	667
営業費用および減価償却費	-501	-482	-534	-481	-465	-466	-470
営業総利益	227	207	239	253	237	265	197
リスク費用	-14	-23	-25	4	-19	-16	-19
営業利益	213	184	214	257	218	249	178
持分法による投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他営業外項目	1	1	10	2	25	1	3
税引前利益	214	184	225	260	243	250	180
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-4	-3	-3	-3	-3	-2	-2
バンクウエスト税引前利益	210	181	221	257	240	248	178
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	6.2	6.3	6.4	6.3	6.3	6.3	6.0
(単位: 百万ユーロ)	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
バンクウエスト (米国プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	716	677	762	724	692	721	658
営業費用および減価償却費	-493	-474	-526	-474	-457	-459	-463
営業総利益	223	203	236	250	234	262	195
リスク費用	-14	-23	-25	4	-19	-16	-19
営業利益	209	180	211	255	215	247	175
営業外損益	1	1	10	2	25	1	3
税引前利益	210	181	221	257	240	248	178
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	6.2	6.3	6.4	6.3	6.3	6.3	6.0
(単位: 百万ユーロ)	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
保険							
営業収益	679	611	456	604	579	562	575
営業費用および減価償却費	-299	-278	-309	-302	-278	-276	-301
営業総利益	380	333	147	302	301	286	275
リスク費用	3	1	-1	-4	2	-4	0
営業利益	383	334	146	298	304	282	275
持分法による投資損益	44	54	55	40	28	60	42
その他営業外項目	0	0	-3	-1	0	1	0
税引前利益	427	387	199	337	332	343	316
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	7.4	7.4	7.4	7.4	7.3	7.3	7.3
(単位: 百万ユーロ)	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
ウェルス&アセット・マネジメント							
営業収益	718	743	723	789	739	764	720
営業費用および減価償却費	-572	-577	-567	-605	-558	-579	-566
営業総利益	146	166	156	184	181	185	154
リスク費用	3	3	3	-7	-1	-16	-1
営業利益	149	169	159	177	180	169	153
持分法による投資損益	12	13	8	11	10	14	8
その他営業外項目	0	0	0	-3	2	0	3
税引前利益	161	181	167	185	191	183	165
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	2.1	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位：百万ユーロ)	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
ホールセールバンキング事業 (CIB)							
営業収益	2,905	3,056	2,686	2,612	2,567	3,014	3,313
営業費用および減価償却費	-2,022	-2,115	-2,258	-1,976	-1,955	-2,051	-2,475
営業総利益	883	942	428	636	612	963	838
リスク費用	-74	-46	-28	-63	-40	-14	-96
営業利益	809	896	400	574	572	948	742
持分法による投資損益	2	13	-3	10	2	13	8
その他営業外項目	1	-2	6	-27	-2	20	136
税引前利益	812	907	403	558	573	981	885
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	22.2	22.0	21.9	21.6	21.6	21.5	20.6
コーポレートバンキング							
営業収益	958	1,037	929	1,126	877	1,015	988
営業費用および減価償却費	-591	-601	-693	-606	-584	-611	-669
営業総利益	368	436	236	520	293	404	319
リスク費用	-79	-42	-55	-69	-50	55	-73
営業利益	289	394	181	451	243	459	246
営業外損益	-3	2	0	-10	-1	32	139
税引前利益	286	396	181	441	242	491	385
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	12.3	12.3	12.2	11.4	11.4	11.3	11.0
グローバルマーケット							
営業収益	1,490	1,558	1,318	1,053	1,245	1,526	1,886
うち FICC	1,082	1,050	890	682	766	900	1,159
うち株式およびプライムサービス	408	509	428	371	478	626	728
営業費用および減価償却費	-1,065	-1,139	-1,184	-980	-1,001	-1,073	-1,450
営業総利益	425	419	134	73	243	453	436
リスク費用	5	-4	27	4	11	-72	-23
営業利益	430	415	160	77	254	380	413
持分法による投資損益	5	11	-4	6	4	2	6
その他営業外項目	0	-2	6	-12	-2	0	-1
税引前利益	435	424	163	72	256	382	418
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	9.1	9.0	9.1	9.5	9.5	9.5	9.0
証券管理							
営業収益	457	461	440	433	444	473	439
営業費用および減価償却費	-367	-374	-382	-390	-369	-368	-356
営業総利益	90	87	59	43	75	106	83
リスク費用	0	1	0	3	0	3	0
営業利益	90	88	59	45	75	109	83
営業外損益	1	0	0	0	0	0	0
税引前利益	91	87	59	45	75	109	83
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6

(単位：百万ユーロ)	3Q16	2Q16	1Q16	4Q15	3Q15	2Q15	1Q15
コーポレート・センター							
営業収益	-45	650	618	151	198	352	209
営業費用および減価償却費	-381	-295	-182	-381	-302	-395	-258
うち事業再編、変革および適応費用	-253	-108	-46	-286	-160	-217	-130
営業総利益	-426	356	435	-230	-103	-43	-50
リスク費用	13	-5	9	-24	-6	-24	2
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	-100	0	0	0
営業利益	-413	350	444	-354	-109	-67	-47
持分法による投資損益	22	28	21	5	14	12	15
その他営業外項目	0	-77	10	-622	11	410	76
税引前利益	-391	301	475	-970	-84	354	43

連結貸借対照表 — 2016年9月30日現在

(単位：百万ユーロ)	2016年9月30日	2015年12月31日
資産		
現金および中央銀行預け金	173,775	134,547
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品		
トレーディング目的有価証券	159,917	133,500
貸出金および売戻契約	188,560	131,783
純損益を通じて公正価値で測定する商品	86,181	83,076
デリバティブ金融商品	334,356	336,624
ヘッジ目的デリバティブ	21,436	18,063
売却可能金融資産	268,496	258,933
金融機関貸出金および債権	54,204	43,427
顧客貸出および債権	690,082	682,497
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	6,213	4,555
満期保有目的金融資産	7,071	7,757
当期および繰延税金資産	7,360	7,865
未収収益およびその他の資産	132,751	108,018
持分法投資	6,723	6,896
投資不動産	1,948	1,639
有形固定資産	21,635	21,593
無形固定資産	3,172	3,104
のれん	9,997	10,316
資産合計	2,173,877	1,994,193
負債		
中央銀行預金	1,685	2,385
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品		
トレーディング目的有価証券	84,958	82,544
借入金および買戻契約	224,962	156,771
純損益を通じて公正価値で測定する商品	52,064	53,118
デリバティブ金融商品	328,962	325,828
ヘッジ目的デリバティブ	21,899	21,068
金融機関預金	97,497	84,146
顧客預金	741,897	700,309
負債証券	171,040	159,447
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	6,102	3,946
当期および繰延税金負債	3,776	2,993
未払費用およびその他の負債	111,193	88,629
保険会社の責任準備金	193,658	185,043
偶発債務等引当金	11,675	11,345
劣後債	19,318	16,544
負債合計	2,070,686	1,894,116
連結資本		
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	85,778	82,839
株主帰属当期純利益	6,260	6,694
資本金、払込剰余金、利益剰余金、 および株主帰属当期純利益合計	92,038	89,533
資本に直接認識される資産および負債の変動	6,673	6,736
株主資本	98,711	96,269
少数株主帰属利益剰余金および当期純利益	4,369	3,691
資本に直接認識される資産および負債の変動	111	117
少数株主持分合計	4,480	3,808
連結資本合計	103,191	100,077
負債および連結資本合計	2,173,877	1,994,193

代替的な業績指標 (ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM) フランス金融市場庁 (AMF) の一般規則第 223-1 条にもとづく開示

代替的な業績指標	定義	使用理由
事業部門営業収益	国内市場部門、国際金融サービス部門、ホールセールバンキング事業の営業収益の合計。 BNP パリバ・グループ営業収益＝事業部門営業収益 + コーポレート・センター営業収益	BNP パリバ・グループの本業の業績を表す指標
PEL/CEL の影響を除く営業収益	PEL/CEL による影響を除く営業収益	PEL/CEL 口座から発生するリスクに対して、口座の存続期間全体にわたり引当金が設定されるが、これらの変動が及ぼす影響を排除した上で、当期の営業収益を表す指標
プライベート・バンキングの 100%を含む リテールバンキング事業損益計算書	リテールバンキング事業の損益計算書であり、プライベート・バンキング業務の損益計算書の全部を含む	リテールバンキング事業の業績を表す指標であり、プライベート・バンキングの業績の全部を含む(プライベート・バンキングは、リテールバンキング(2/3)とウェルス・マネジメント(1/3)の共同責任のもとに置かれるが、その損益計算書を責任割合に基づき分割する前の 100%を含む)
リスク費用 ÷ 期首融資残高(単位:bp)	リスク費用(単位:百万ユーロ)を期首の融資残高で除したもの	事業体が負うリスクレベルの指標であり、融資残高を分母として算定し、%で表示
特別項目を除く株主帰属純利益	特別項目を除いて算定された株主帰属純利益	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を排除した、BNP パリバ・グループの純利益に関する指標。排除される項目の主なものに、自己負債の再評価に関わる修正額(OCA)、デリバティブに関わる債務価値調整額(DVA)、に加え、事業改編・再編費用などがある
特別項目を除く自己資本利益率(ROE)	算定式:【特別項目および永久最劣後債に関わる支払を除いた株主帰属純利益の年換算後】÷【永久株主資本の期中平均残高】 (永久株主資本は、直接資本の部で認識される資産および負債の評価差額、永久最劣後債、永久最劣後債保有者に支払う税引後分配金、および予定される配当金を排除した、グループ帰属株主資本を指す)	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を排除した、BNP パリバ・グループの自己資本利益率に関する指標。排除される項目の主なものに、自己負債の再評価に関わる修正額(OCA)、デリバティブに関わる債務価値調整額(DVA)、に加え、事業改編・再編費用などがある
特別項目を除く有形自己資本利益率(ROTE)	算定式:【特別項目および永久最劣後債に関わる支払を除いた株主帰属純利益の年換算後】÷【有形永久株主資本の期中平均残高】 (有形永久株主資本は、永久株主資本からのれんおよび無形資産を除いたもの)	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を排除した、BNP パリバの有形自己資本利益率に関する指標。排除される項目の主なものに、自己負債の再評価に関わる修正額(OCA)、デリバティブに関わる債務価値調整額(DVA)、に加え、事業改編・再編費用などがある

比較分析 – 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

- 企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。
- 会社分割の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について自動的に排除する。
- 連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算は全て、会社の報告通貨を基準に行う。

注：

営業費用： 従業員給与および従業員給付制度、その他経費、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている

事業部門： 以下の3部門から成る：

- **国内市場部門：** フランス国内リテールバンキング（FRB）、BNL バンカ・コメルシアレ（BNL bc）、ベルギー国内リテールバンキング（BRB）、その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、ルクセンブルク国内リテールバンキング（LRB））を含む
- **国際金融サービス部門（IFS）：** 欧州・地中海沿岸諸国、バンクウエスト、パーソナル・ファイナンス、保険、ウェルス&アセット・マネジメント（WAM）を含む。WAM には、アセット・マネジメント、ウェルス・マネジメント、および不動産管理部門が含まれる
- **ホールセールバンキング事業（CIB）：** コーポレートバンキング部門、グローバルマーケット部門、セキュリティーズ・サービス部門（証券管理部門）を含む

好業績および着実な自己資本の積上げ	2
リテールバンキングおよびサービス事業.....	5
国内市場部門	5
国際金融サービス部門.....	8
ホールセールバンキング事業 (CIB)	10
コーポレート・センター	11
財務構造.....	12
2016 年、監督上の検証・評価プロセス (SREP) の結果.....	12
連結損益計算書	14
2016 年度第 3 四半期 - コア事業別業績.....	15
2016 年 1-9 月期 - コア事業別業績.....	17
連結四半期業績の推移.....	18
連結貸借対照表 - 2016 年 9 月 30 日現在.....	27
代替的な業績指標 (ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM) フランス金融市場庁 (AMF) の一般規則第 223-1 条にもとづく開示.....	28

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2016 年 3 月 29 日に、BNP パリバは 2015 年度の四半期決算に関わる修正を公表しました。かかる修正には特に以下の事項が反映されています。(i) 各業務部門に配賦される資本金を、リスク加重資産に対してそれまでの 9%から 11%へと増強しました。(ii) グループが発行するその他 Tier 1 資本証券および Tier 2 負債証券の劣後特約に関わる費用を事業部門や業務部門に負担させ、コーポレート・センターと業務部門との間で発生する流動性について、その請求方法および報酬の決定方法を見直すとともに、CIB 財務部門の活動により生じる営業収益および営業費用の配賦方法を改変しました。(iii) 単一破綻処理基金への拠出金、フランスのシステミックリスク税の負担、BNL bc およびルクセンブルク国内リテールバンキングに関わる預金保険基金への新たな拠出金については、一時的にコーポレート・センターの営業費用として計上していましたが、これらを事業部門および業務部門へ配賦しました。(iv) 一部の業務および業績が、グループ内部で移管あるいは振替えられました。2015 年度四半期業績の数値は、あたかもこれらの取引が 2015 年 1 月 1 日に実施されたかのように反映し修正されています。本プレゼンテーションは、修正された 2015 年度の四半期数値に基づいています。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス (Supervisory Review and Evaluation Process: SREP)」は欧州中央銀行 (ECB) により毎年実施されますが、BNP パリバグループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレゼンテーションに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。